



編集・発行  
福江中学校  
PTA 広報委員会

お礼の言葉

PTA副会長 赤佐 若菜

コロナ禍の休校から幕を開けた前例のない一年が過ぎ去ろうとしています。保護者や地域の皆様には日頃のPTA活動へのご理解ご協力を頂き、誠にありがとうございます。コロナ禍の先の見えない状態でPTA活動は始まりました。大変な年に副会長を務めることになり、私でよかったのかという不安をもちながらも新しい出会いと活動を楽しませてもらいました。

子どもたちは、臨時休校、部活動の大会の中止や縮小など、つらい思いをしてきました。そのような状況の中、体育大会や合唱コンクールが行われたことは本当にうれしく思いました。子どもたちの団結と笑顔を見ることができ、言葉にならない思いがこみ上げてきました。

今年度、相次ぐ学校行事の中止で、PTAとして直接子どもたちに関わる機会が減ってしまったこと

はさみしく思います。その一方で、交通立番では、子どもたちと挨拶を交わすことで元気を分けてもらうことができました。その際、地域の方々が見通しの悪い交差点や狭い道で子どもたちに注意して運転している様子を見て、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今年度の活動の中に学校運営協議会への参加がありました。ここで福江中学校がコミュニティ・スクールであるということが分かりました。そして先生方や多くの地域の方々から福江中学校に関わり、協力してくれていることを知り、保護者として頭の下がる思いでした。また、今までのPTAの活動が評価され、「日本PTA会長表彰」を受賞することができました。これをきっかけに、コミュニティ・スクールの中でよりよいPTA活動の在り方を模索することで、福江校区がますます盛り上がることを願っています。多くの人に助けられ、充実した一年を過ごすことができました。本当にありがとうございます。

各委員会の活動より

厚生委員会

委員長 川口 貴司

今年のPTA活動は、新型コロナウイルスが猛威を振るう中で始まりました。緊急事態宣言の発令や、それに伴う部活動や学校行事の縮小や中止があり、非常に混乱しました。

厚生委員会の主な活動には、除草剤散布、花の苗の定植、校内環境整備などがあります。今年度は、コロナ禍のため、校内環境整備のみしか行うことができませんでした。夏の暑い日差しの中で行う作業になり、時間を例年より遅くしたり、こまめに水分をとったりするなど、しっかりと熱中症対策をとりながら行いました。

今年度は、生活様式が大きく変わり、学校生活も大きく変わりました。生徒の皆さんと先生方の負担は大きかったと思いますが、精一杯頑張る姿に励まされました。

PTAの皆様や先生方のご助力により、一年間無事に過ごせることができました。大変感謝しております。ありがとうございました。



校内環境整備作業の様子②



校内環境整備作業の様子①

生活委員会

委員長 村田 恵一

生活委員会は毎年ソフトバレーボール大会へ向けて練習を主導しています。今年度は感染防止を念頭に置いた活動内容となりました。

練習回数を例年と比べて大幅に減らし、実施する際も消毒、換気、練習参加者の把握など、できる限り感染対策を施した上で取り組みました。それでも一抹の不安を覚えながら練習を始めました。練習では、サーブを派手に外した時の笑い声や華麗なスパイクが決まって沸き起こる歓声などが聞こえてきました。

楽しそうにプレーする参加者の声が耳に入ってきた時、この活動を実施できたことをうれしく思いました。

試合への出場は一度も叶わず、結果として練習のみの活動となりました。しかし、PTAソフトバレーボールの本来の目的である「交流を介して親睦を深める」ことに関しては一定以上の確かな成果を得られたのではないかと感じています。

数多くの行事が中止となる状況下において、関係者の皆様のご協力を仰ぎながら無事に活動を終えることができました。心より感謝申し上げます。

父母の聲

子どもたちにエールを!

三年生保護者 矢野上比呂子

みなさんにとって、不安や苛立ちを感じる一年になったと思います。初めての自粛期間の時は本当に

どうなるかと心配しました。子どもたちは、親の心配をよそに自分たちで適度に運動したり、勉強したりしていました。また、家事に挑戦し、兄妹で昼ご飯を作り、私の分も準備してくれました。さらには自分で使う衣類を洗濯して干したり、畳んだりしていました。このように、子どもたちは、忙しい学校生活を送っていたらできない貴重な経験をする事ができました。

コロナ禍の過ごし方を通して、悪いことばかりに目を向けず、状況に合わせてできることを行い、自分に力を付けていくことが大切だと思います。今後何かが起きてても、慌てることなく状況の変化に対応できる力を付けてほしいです。



今こそ思いを声に

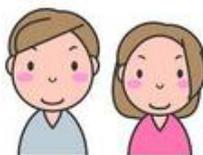
二年生保護者 森下 美和

「今年のPTAは、やる事がなくてラッキーだったね。」私が今年度、一言言われた言葉かもしれませ

このコロナ禍は、学校の在り方を問うきっかけになりました。それはPTAにおいても同様でした。役員会や全体会では、これまで考えられなかった対応を強いられる中、子どもたちのことを第一に考え、何ができるかを先生方と必死に模索しました。

その時に一番必要となったのは「保護者の声」でした。学年が違えば考え方も違い、父親・母親の目線も違います。しかし、子どもたちの様子や会話を一番身近で見ている保護者の声は、発想力に富んでおり、大きな力になりました。

言葉は、人を突き動かす力があります。子どもたち・保護者・先生方・地域の方の思いを声にして、この状況乗り越えていきたいです。



感謝の心を忘れずに

三年生保護者 小久保 一樹

新型コロナウイルスにより、子どもたちにとっても大人たちにとっても不安な日々が続いています。子どもたちは、臨時休業期間中は友達と会えず寂しい思いをしていたでしょう。このコロナ禍では、思うような学校生活を過ごすことができていません。楽しみにしていた行事や部活動の大会が次々に中止や延期となり、気を落としている子どもたちも多くいます。このような状況だからこそ、自分たちにできることを考え、行動してほしいです。

このコロナ禍で、どうすれば子どもたちが楽しい学校生活を送ることができるかを考える必要があります。感染症予防に努めたり、行事の形や方法を変えたりするなどして、新型コロナウイルスと上手に付き合いながら、子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるようになっていきたいです。

子どもたちは、先生方、保護者、地域の方々など多くの人の協力があることで、毎日楽しく学校生活を過ごすことができます。元気に学校生活を過ごすことができたり、毎日友達に会えたりするなど当たり前の日常に感謝しながら、一日一日を大切に過ごしてほしいです。



した。普段の授業などではなかなか顔を合わせる機会が少ない中、みんなが笑顔で元気に挨拶してくれることがとても嬉しかったです。最高学年として本当に頼もしく、居心地がよい素敵な学年でした。

これからも今いる場所を見失うことなく、自分を大切に、周りを大切に、感謝の気持ちを大切に、明るい未来へ突き進んでください。本当にありがとうございます。

**Fun! Fun! Fun!  
English!!**

三年副担任 林 淳也

卒業おめでとうございます。一年間（伊良湖岬中出身の人とは二年間）一緒に英語を学ぶことができ、とても幸せな時間を過ごすことができました。みなさんとの授業が毎回本当に楽しかったです。「英語に親しみをもち、楽しみながら学んでほしい」という思いで共に創ってきた授業が、私にとってかけがえのない財産となりました。

EXILEの「One love」という曲に「出会いの数だけ笑顔が生まれ笑顔の数だけ幸せになる」という歌詞があります。

みなさんと出会って、たくさん笑顔になれました。おかげで、私は今すごく幸せです。これからの新しい

出会いを大切にして、笑顔あふれる人生を歩んでいってください。みなさんとの貴重な出会いに感謝。これからの更なる活躍を楽しみにしています。

**はじめまして、また会いましょう**

三年副担任 二川 和

卒業おめでとうございます。「はじめまして！」から始まった皆さんとの思い出は、たった一年とは思えないほどたくさんで、重く、そして大切です。大きな行事から放課の一幕まで、すべてがまぶしく輝いていました。一人一人が違った色をもっていて、ぶつかったり混ざったりしながら高め合っています。「十人十色」「みんな違ってみんなよい」とはまさにこのことか。言葉の意味に納得しました。私は、教師として初めて出会ったのが皆さんで本当に良かったと心から思います。とても多くのことを学びました。ありがとうございます。

酸いも甘いも、経験が人を作っていくのだと思っています。これから、できる限りのさまざまな経験を、さまざまなことを感じて、豊かな人になってください。そしてお互いに、更に成長した姿で、また会いましょう。皆さんの行く道に、皆さんの幸せが訪れますように。

## 青木さんの

### 講演を聞いて

(生き方講演会)

二年三組 河合 咲和

私は青木さんの講演を聞いて、「笑顔が素敵だな」「話し方がイキイキしているな」と思いました。

私は講演を聞くまで将来やりたいことが思いつきませんでした。青木さんの生き方を聞いて自分の将来が見えてきました。そして青木さんのように自分の仕事に自信をもって話せるような人間になりたいと思いました。青木さんは、会社から必要とされたり、人として必要とされたりするためには挨拶から始めることが大事であると言っていました。そのことを聞いて、まさにその通りだなと思いました。

ただ頭がいいだけじゃなくて人と上手にコミュニケーションをとることが大切で、それができる人が必要とされると分かりました。青木さんの「ホテルに必要な人はい人もいない」という言葉を聞いて、誰よりもみんなのことを考えていると思いました。

自分に自信がもてなくなったり、内容の濃い人生にしていきたいです。

## 令和二年度

### 主なPTA活動

四月二十八日

PTA総会 **【書面決議】**

五月二十一日・十一月十二日

親子クリン作戦 **【中止】**

六月六日

親子ふれあい活動

部活動参観 **【中止】**

六月二十日

市P連ソフトバレー大会 **【中止】**

七月十九日

潮音寺観音祭り補導 **【中止】**

八月二十日

環境整備作業

八月二十二日

あつみまつり補導 **【中止】**

十月二十八・二十九日

合唱祭 **【PTAとしての参加中止】**

十一月十五日

Cブロックソフトバレー大会 **【中止】**

十一月二十六日

除草剤散布

十一月

福江中学校合唱祭DVD編集

一月十六日

市P連研究発表大会

**【中止（紙上発表）】**

コロナ禍でのPTA活動へのご理解・ご協力ありがとうございます。